

下新庄地域まちづくりワークショップ議事概要

日 時：令和6年9月5日（木）19:00～20:45 場 所：下新庄福祉会館
出席者：21名（地域12名、区役所5名、コンサルタント4名）

【議事】

- 1 下新庄地域ごあいさつ
- 2 参加者の自己紹介
- 3 これまでの振り返りとこれからの取り組み
- 4 ワークショップの趣旨説明
※「防災」「防犯」について、いまできること、将来に向けて取り組んでいくことを考える。
- 5 ワークショップ
- 6 次回ワークショップのテーマ

《配付資料》

- ・「防災」
- ・「防犯」

《開催時の写真》



1. 下新庄地域ごあいさつ

- ・下新庄地域活動協議会会長の生島さんからごあいさつがありました。

2. 参加者の自己紹介

- ・参加された皆さんから、氏名、所属団体等の自己紹介がありました。

3. これまでの振り返りとこれからの取り組み

- ・区役所からこれまでの下新庄地域で話し合われた経緯や下新庄駅付近の連続立体交差事業の進捗状況について説明がありました。

4. 趣旨説明

- ・今回のワークショップは、下新庄地域のアクションプランを作成していくにあたり、「安全なまち～防犯・防災について、現状とさらなる取り組みを考える～」をテーマとして、地域での不安や懸案事項について、地域や行政、事業者、個人がそれぞれの立場でいまできること、将来に考えることについて、意見を出し合い、可視化することが目的との説明がありました。

5. ワークショップ

(1)「防災・減災」について

- ・「防災・減災」について、区役所（地域課安全まちづくり担当）から説明を受けました。
- ・地域の白地図に、各項目に該当する色の付箋に、参加者の関心事項を記述して貼り付けていき、出された意見について参加者で意見交換等を行い、最後にまとめを行う手法で行われました。

＜ワークショップで出た主な意見＞

- ・防災無線の音は聞こえるが、何を言っているのか分からない。
 - ・宮崎や南海トラフ地震の報道で、家族で避難先について相談していたが、今日の話を聞いて、学校や公園以外にも命を守るための避難先はほかにもあることに気づいた。自分たちの命を守るための安全な避難先について、改めて考えたいと思った。
 - ・災害に関する情報について、LINE やメール、電話といった方法で地域内や区役所との情報共有をはかっている。
 - ・どの程度で避難すべきか、避難所開設等の対応をすべきか、判断が難しい。
 - ・開設した避難所に来た人は、夫が単身赴任中で乳幼児を連れた若いお母さんなど、意外と若い人が多かった。
 - ・阪急電車の西側は木造の住宅や3 m以下の道路が多い。（発災時には車が通れず）4 丁目はすぐに救助が来ないだろう。
 - ・下新庄駅が高架化されれば、発災時には上に上がって避難できるようにしてほしい。
 - ・下新庄駅の高架下に、地域の人たち、子供たちが集まることのできる場所・広場、防災拠点ともなる地域交流拠点などがほしい。
 - ・避難先としても使える会館を整備してほしい。以前から高架下に会館ができるように要望書を提出しており、市に受け止めてもらっている。
- （区役所）区役所としても要望を把握している。阪急電鉄から聞いた話では、令和 10 年末に高架化の切り替え予定であり、その2～3 年前位から高架下の利活用についての計画が検討されるとのことである。
- ・下新庄駅南側の踏切は、階段段差・スロープが急で、スムーズに通れない。

- ・下新庄駅北側の踏切は、踏切に向かう道路の勾配が急であり、徒歩（特に高齢者）、自転車での移動で困る。行政もしくは事業者（阪急電鉄）による、緩やかな勾配となるように早期の改善を求めたい。

- ・改良工事の要望をアクションプランに入れるべき。

→（区役所）高架の側道整備は大阪市になるが、建設局に申し伝える。

（2）「防犯」について

- ・「防犯」について、区役所（地域課安全まちづくり担当）から説明を受けました。

＜ワークショップで出た主な意見＞

- ・先日、近所の方と話していて、詐欺電話でＡＴＭの手前まで行き、詐欺被害に遭いかけたという話を聞いた。その時に電話の録音機（無料貸与）についても教えてもらった。近所の 65 歳以上のおうちにも教えてあげたい。普段から近所で話すことは大切だと思う。
- ・（区役所のデータを聞いて）下新庄地域は比較的治安が良いことが分かった。これからも、継続して治安の維持・向上に取り組んでいきたい。
- ・下新庄公園に（地域の）防犯カメラが設置されているが、（子どもたちが遊んでいるなかで）しょっちゅうカメラの角度が変わっている。そもそも設置場所が良くない。
- ・地活協でも防犯カメラを設置している。毎年 2～3 台、交換していつているが、まだ暗い場所もあるので増やせないか。（北公園にはつけてもらった。）

→（区役所）警察との協議が必要で、現状では難しい。

- ・防犯カメラを設置すると、使用料を請求されてしまう。なんとかならないか？

→（区役所）区が設置した防犯カメラについても、関西電力やＮＴＴに使用料を支払っている。

- ・防犯カメラの点検料も高い。（１台 2 万円位）
- ・青パトの音がうるさいとクレームがあったようで、「このあたりではボリュームを下げてくれ」と言われた。音が聞こえないようでは、青パトが回る意味がない。
- ・下新庄駅の近くに交番を設置するためにどのように働きかけたらいいか探してほしい。
- ・朝は立ち当番が児童の登校を見守っているが、スクールゾーンに車がスピードを出して入ってきたり、通行禁止時間帯についての立て看板などに対してクレームを言ってくる人がいる。

→（区役所）警察の見回り強化が望ましいが、スクールゾーンの色分けや表示は 5～6 年先になると言われたことがある。立て看板のかわりに、電柱に巻き看板などを地域と協力して設置することも考えられるが、実効性についてはわからない。

6. 次回ワークショップのテーマ

-
- ・次回ワークショップのテーマは、「子ども」（次々回は「高齢者」）とすることを決めた。
 - ・次回ワークショップまでにテーマに沿った各自の意見・考えを整理しておいてほしい旨を伝えた。

以上